

## 第12期Aコース（オーストラリア）帰国レポート

### ○ オーストラリア（クイーンズランド州） 帰国レポート

令和6年1月に出発した第12期の研修生が、同年12月2日(月)に、オーストラリアクイーンズランド州から、日本に帰国しました。

留學生活に対する期待や不安の中、ホストファミリーや友達、ホストスクールの先生や現地留學受入機関の方々など、多くの支えによって、留學期間を終えることができました。

クイーンズランド州に留學していた研修生たちは、滞在していた地区であるブリスベン近郊から、帰国前の特別プログラム会場であるブリスベン市内のRaymont Collegeに集合しました。



<ホストファミリーと記念撮影>

#### 《特別プログラムの第1日》

2日間に渡る特別プログラムの1日目は、留學先の学校生活について、即興でスピーチを行ったり、事前に準備してきたスライドを基に、留學生活で得たことや学んだことについて英語でのプレゼンテーションを行ったりしました。

プレゼンテーションでは、学校での様子、ホストファミリーや友達との思い出、課外活動として行ったボランティア活動の様子について発表しました。初めは緊張した様子でしたが、どの研修生も自身の一番伝えたいことになると自然と笑みがこぼれ、堂々とスピーチしていました。「自分に自信がもてた。」「語学力が向上した。」と多くの研修生が実感しており、一人一人が実りの多い留學生活を送ることができたことが分かりました。



<特別プログラムの様子>



<プレゼンテーション準備の様子>



<プレゼンテーションの様子>

#### 《特別プログラムの第2日》

特別プログラム2日目は、「タイムカプセルアクティビティ」を行いました。昨年度の1月にオーストラリアに来た時に感じたことなどを書き留めた用紙が返却され、研修生は約10か月前の自分を振り返り、自身の成長を実感するとともに、留學期間を終えた今の気持ちを用紙に追記しました。

また、現地で働く方から海外での就学・就労経験のお話を聞き、自身の進路やキャリアについての考えを深めることができました。

講演後はクイーンズランド大学へ移動し、キャンパスツアーを行いました。クイーンズランド大学は、100年以上の歴史があり、世界大学ランキング43位という、世界トップレベルの大学です。研修生は歴史的な建

造物から学びを深めると共に、グローバルに活躍することや大学生活について、現地機関のスタッフからお話を伺いました。現地大学生は、大学ごとに強みとする学術分野があるため、自分の興味・関心及び高校の成績によって、進学先を決めるということでした。オーストラリアでの様々な進路選択の仕方を聞き、研修生は自分自身の進路について真剣に考えていました。



<クイーンズランド大学 キャンパスツアーの様子>

研修生はこの約 10 か月間の留学生生活をどのようにこれからの人生に生かし、自分の道を切り拓いていくのでしょうか。

これから次世代リーダー育成道場を修了する研修生には、様々なことに挑戦を続け、留学で得た経験を生かして行ってほしいと思います。そして、東京都や日本、世界に貢献する人として成長していくことを期待しています。



<成田空港到着時の集合写真>